

木本小だより

令和3年度 第16号
2022年3月18日発行



「桜」

ご卒業、おめでとうございます。

校庭の景色が春満開になろうとしている、この佳き日、10人が学び舎をあとにします。6年間の生活を通して心も体も、見違えるほど大きく成長し、今日巣立っていく姿に感慨深いものがあります。一昨年度末から「新型コロナウイルスの流行」により学校はかつて経験したことのない状況にあります。感染予防のためにできないことがたくさんありました。子どもたちも楽しみにしていた行事が延期や規模縮小となり消化不良の2年間だったと思います。そのような中、ひたむきに頑張る子どもたちの姿は素晴らしいものでした。いつか、笑いながら「あんなこともあったよね」と、この窮屈な小学校最後の時期を語る日がくることを願っています。

卒業にあたり、子どもたちに「桜梅桃李」ということばを贈りました。一人ひとり違う花の形・色・かおりをもった桜梅桃李の花、そして、違う実を成らす花にたとえ、それぞれが、自分に自信をもち自分らしく生きてほしいという願いを込めて贈りました。うまく伝わったか分かりませんが、この話の後を承けて「自信をもって中学校に進む」「中学校で頑張る」と、宣言してくれた人がたくさんありました。

10人にとっては、今日からこの木本小学校が、母校となります。子どもたちの笑顔が輝く学校であり続けたいと思います。今後とも、木本小学校へのご理解・ご協力をお願いします。



「梅」



「桃」



「李」



木本小学校校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 福井直秋

一 海山あらし熊野の子
心すなおに身は健し
みな世につくす心掛け
頼もしい子になろうもの
熊野市木本小学生
みな仲よしの子どもたち

二 明るく学ぶよき校舎
なかよく遊ぶ校庭に
見上げて高き松一樹
強く生きよと教え居る
熊野市木本小学生
みな仲よしの子どもたち

